



■ 病気の概要

脳の神経細胞が過剰に興奮し、けいれん発作を繰り返す病気です。明らかな原因がない「特発性てんかん」と、脳腫瘍・炎症・代謝異常などが原因の「症候性てんかん」があります。1～5歳で発作が始まる場合は特発性が多く、適切な薬で発作をコントロールしながら生活できることがほとんどです。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・突然倒れて手足をバタバタさせる（全身のけいれん）
- ・体の一部のピクつき・顔のけいれん
- ・よだれ・失禁を伴う発作
- ・発作の前後にそわそわする・ぼーっとする
- ・短時間に発作を繰り返す（群発発作）

■ どんな検査をするの？

- ・神経学的検査
- ・血液検査（代謝性・肝臓などの病気の除外）
- ・血圧測定
- ・MRI 検査（脳の構造評価）：必要に応じて専門施設をご紹介します
- ・脳脊髄液検査（必要に応じて専門施設をご紹介します）

■ 治療方法

内科治療

- ・抗てんかん薬（フェノバルビタール・臭化カリウム・レベチラセタムなど）の内服
- ・発作の頻度・程度に応じた薬の調整
- ・定期的な血中濃度・肝機能のモニタリング
- ・群発発作・重積発作時の緊急対応

精密検査・専門紹介

- ・MRI・脳脊髄液検査は専門施設をご紹介します
- ・脳腫瘍・脳炎など原因がある場合は専門施設と連携して治療します

■ ご家庭で気をつけること

- ・発作が起きた日時・長さ・様子を記録する（動画があると診断に役立ちます）
- ・抗てんかん薬を自己判断で中断しない（急な中止は発作を悪化させます）
- ・発作中は無理に押さえず、周囲の危険なものを片づける
- ・5分以上続く発作・短時間に繰り返す発作はすぐにご連絡ください
- ・定期的な血液検査で薬の量を調整する

■ よくある質問

Q. 一度の発作ですぐ薬を始めますか？

A. 発作の頻度や原因によります。短い発作が1回のみなら経過観察のこともあります。頻発する場合や群発発作では治療を始めます。

Q. 一生薬が必要ですか？

A. 特発性てんかんでは長期の服薬が必要なことが多いですが、多くの子で発作をコントロールしながら通常の生活を送れます。

Q. MRI は必要ですか？

A. 若齢で典型的な特発性てんかんでは必須ではありませんが、発症年齢が非典型的な場合や症状が進む場合は原因を調べるため MRI をお勧めします。撮影は専門施設をご紹介します。

Q. 発作が止まらないときは？

A. 5分以上続く、または短時間に繰り返す場合は命に関わる場合があります。すぐにご連絡ください。

■ なつ動物病院での診療について

当院ではてんかんの診断（原因の除外）と、抗てんかん薬による長期管理を行います。MRI などの精密検査が必要な場合は専門施設をご紹介します。発作の様子を記録した動画があると診断に役立ちます。群発・重積発作は緊急性が高く、診察時間内は最優先で対応します。夜間・時間外は北九州夜間救急動物病院（車で約 40 分）または福岡夜間救急動物病院（車で約 90 分）をご利用ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください